

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	重度・重複	教科等名	自立活動
年間授業時数	83	使用教室	3年3組教室			使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員	月曜日	6校時 (14:10~15:00)	MT	宇田川良行	ST	金野拓郎 高橋法子	
	火曜日	3校時 (10:35~11:25)	MT	宇田川良行	ST	吉田祥子 竹内祐	
	水曜日	2校時 (9:40~10:30)	MT	宇田川良行	ST	蓮沼淳子 吉村秀俊	
ねらい	(1)	軽作業により、目的物を注視し認知する力や、手指を操作する感覚を高める。					
	(2)	見通しをもって活動に参加し、自分の意思を穏やかに発信できる。					
	(3)	教員や友達との関りを通して、他者を意識して行動できる力を高める。					

指導項目 (6区分27項目)	学期	月	時数	ねらい	主な学習内容	行事・他教科等との関連	指導の工夫		
1 健康の保持について (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (5) 健康状態の維持・改善に関する事。	1 学期	4	8	(健康の保持について) ・教室環境(室温や採光など)を整え、快適に生活する。 ・手洗い、うがい、ハンカチの携帯など健康の保持に必要な習慣を身に付ける。 ・衣服の調節などを必要に応じて行える。 ・衣服を身に付けた時の感覚を納得して受け入れられる。 ・定時排泄、水分補給により、良好な体調を保つことができる。	・シール貼り ・ストレッチ ・ウォーキング ・階段昇降 ・教室清掃(ほうき、床拭き等)	・SHR、日常生活の指導における着替え ・国語「気持ちを伝える」 ・数学「パズルをしよう」 ・作業学習「紙工班」 ・特別活動「行事に向けた取り組み」	・活動の流れが分かりやすい作業内容を設定し、見通しをもって1人で一定時間行えるようにする。 ・貼り絵はちぎった紙で作成する。ちぎる紙の大きさは、生徒それぞれがちぎりやすい大きさにする。 ・動的な活動と静的な活動を織り交ぜ、心身の安定を図れるように調節しながら活動を進める。 ・文房具の貸し借りなど、コミュニケーションの場を設定する。 ・一日を通して安定した気持ちで過ごせるように、活動の量を調節しながら行う。		
		5	8						
		6	6						
		7	6						
2 心理的な安定 (1) 情緒の安定に関する事。	2 学期	9	10	(心理的な安定について) ・一定の学習環境、学習集団の中で心理的な安定を保つことができる。 ・学習活動を一定期間繰り返し行い、見通しをもって活動できる。 ・教員と相談しながら、活動の選択や量を調節することができる。	・スケジュールの理解、確認、AACの使い方	【行事】 ・修学旅行 ・足立フェスタ	・手指を使い、手元に集中して軽作業を行い、心身の機能を向上させる。 ・見通しをもって活動ができるように、活動の始まりと終わりを明確にする。 ・教員(他者)とのコミュニケーションの学習となるよう、意図的にやり取りの場面を設定する。 ・一日を通して安定した気持ちで過ごせるように、活動の量を調節しながら行う。		
3 人間関係の形成 (1) 他者との関わり方の基礎に関する事。 (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。 (4) 集団への参加の基礎に関する事。		10	3	(人間関係の形成について) ・良好な関わり方とおして、気持ちよく相手と関われるようになる。 ・自身の心身の体調について気が付き、教員へ訴えることができる。 ・友達との共同作業を設定し、他者を意識しながら活動できるようになる。				【個別課題】 ・指示書に沿った作業 ・指示書に沿った描画 ・積み木模様 ・軽作業 ・暖簾作り(はさみの使い方、ビーズなどの糸通し等) ・袋詰め ・模倣運動 ・ストレッチ ・ウォーキング	・日常生活の指導「身支度」 ・国語「様々な言葉」
5 身体の動き (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。		11	10	(身体の動きについて) ・軽作業や清掃作業により、合理的な体の使い方を身に付ける。 ・日常生活の動作を丁寧に、正しい姿勢や体の動かし方を身に付ける。 ・歩行、階段昇降、清掃活動などにより、全身の力を付け、バランス感覚を養う。				・スケジュール確認、活動前の約束確認	・保健体育 朝の体力作り ・作業学習「紙工班」
6 コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。 (2) 言語の受容と表出に関する事。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。		12	9	(コミュニケーションについて) ・作業に必要な報告や挨拶を行うことができる。 ・相手に自分の意思や要求を伝える経験を繰り返し、コミュニケーションへの意欲を高めることができる。 ・共同作業を助け合って行うことができる。 ・言葉によって意思を表出し、伝える経験を積むことができる。				・スケジュール確認、活動前の約束確認	・特別活動「修学旅行事前事後学習」「足立フェスタ事前学習」
3 学期	1	6	・言葉によって意思を表出し、伝える経験を積むことができる。	【個別課題】 ・指示書に沿った作業 ・指示書に沿った描画 ・積み木模様 ・軽作業 ・暖簾作り(はさみの使い方、ビーズなどの糸通し等) ・袋詰め ・模倣運動 ・ストレッチ ・ウォーキング ・階段昇降 ・教室清掃	【行事】 卒業式 ・日常生活の指導「身支度」 ・国語「3年間の振り返り」 ・作業学習「紙工班」	・儀式行事に参加する見通しをもてるように、やることや順番を丁寧に示す。 ・手指を使い、手元に集中して軽作業を行い、心身の機能を向上させる。 ・見通しをもって活動ができるように、活動の始まりと終わりを明確にする。 ・教員(他者)とのコミュニケーションの学習となるよう、意図的にやり取りの場面を設定する。 ・一日を通して安定した気持ちで過ごせるように、活動の量を調節しながら行う。			
	2	8							
	3	9					・スケジュール確認、活動前の約束確認	・特別活動「足立フェスタ事後学習」「卒業式事前学習」	